

4期生、卒業おめでとうございます！



令和6年2月28日（水）、春の訪れを感じさせる暖かな日差しが降り注ぐ中、能勢分校4期生24名の卒業式を執り行いました。式には保護者と来賓、在校生が出席しました。

准校長は式辞の中で、「これからの人生100年時代を豊かに生きるためには、人と人とのつながり『縁』こそが大切です。この学校で出会った縁への感謝と思いやりを、これからの縁に希望とときめきを持ってください。社会はあなたたちを求めています。」と力強いエールを贈りました。

卒業生代表の村田帝さんは、コロナ禍の中で始まった高校生活を振り返り、自粛の多い中でも体育祭や文化祭、弓削島への修学旅行で仲間と共にたくさんの思い出が作れたことを振り返りました。また、卒業生が系列ごとに作成したスライドを上映し、お世話になった先生方に感謝の言葉を伝えました。

卒業生の皆さん、みなさんの未来が輝かしいものになることを祈っています。ご卒業おめでとうございます！

2年生が修学旅行へ行きました

1月30日（火）～2月2日（金）、3泊4日の日程で2年生が北海道・道東方面へ修学旅行に行きました。

初日は新千歳空港を経由し中標津空港に降り立ちました。標津町にある「北方領土館」を訪れ、函舞諸島出身の語り部の方から北方領土の問題についてのお話を聞きました。すぐそこにある北方領土を身近に感じました。その後、「標津サーモン科学館」へ向かい、サケ科魚類日本一の展示を堪能し、標津川温泉に宿泊しました。

2日目は、弟子屈町にある「硫黄山」へ立ち寄りました。強烈な硫黄臭や間近に噴き出している火山ガスの様子から、活火山のダイナミックさを肌で感じました。そして網走へ。広大な敷地の「博物館 網走監獄」は、明治23年から昭和61年まで実際に刑務所として使われていました。当時の様子を再現したリアルな展示を見学しました。その後「砕氷船オーロラ号」に乗船しました。大きな流氷を砕き、音を立てながら船が進んでいく様子は圧巻でした。

3日目は、阿寒の宿から「北海道大空高等学校」へ。一日、大空高校の2年生と交流しました。午前には事前にオンラインで準備をしていた探究活動ワークショップを行い、午後は大空高校の生徒さんと班に分かれ、カーリング、雪像作りなどのアクティビティを楽しみました。夜は全面が結氷した阿寒湖での花火を鑑賞しました。この時の外気温はマイナス16度！夏の花火とは一味違う美しさでした。

最終日は結氷している阿寒湖上の「あいすランド阿寒」でワカサギ釣り、氷上バナナボート、アイススケートなどのアクティビティを楽しみました。

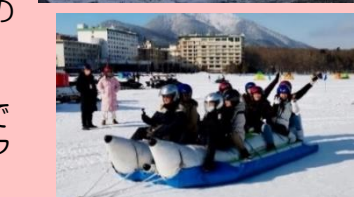
4日間、冬の北海道にもかかわらず天気が荒れることもなく、皆無事に大阪に戻り、真冬の北海道でしか体験できない思い出をたくさん作ることができました。



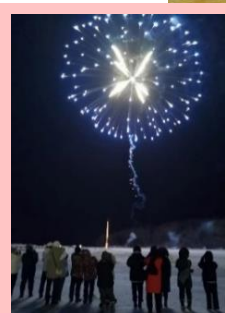
硫黄山



博物館 網走監獄



大空高校にて

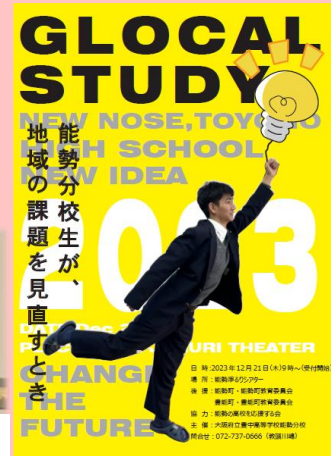


課題探究GS最終発表会を開催

12月21日(木)、淨るりシアター小ホールにて、3年生9チームが春から進めていた課題探究GSの最終発表会を行いました。



大阪公立大学伊井教授



1. 【探究コース】 RIDE ON

～能勢分校生の通学のために～

能勢の交通課題をテーマに分校生の登下校にE-bikeを利用することで解決の糸口になるか検証しました。

2. 【探究コース】 NosECO project

～Making Beautiful From Garbage～

ごみ処理による環境破壊に着目し、修学旅行での学びや地域のクリーンセンターを参考にコンポストによるごみの減量を検証しました。

3. 【食農流通コース】 地域の産業廃棄物を有効活用

～捨てちゃうものとニトリのエサ代削減へ～

分校で飼育している動物たちの餌代高騰の問題を、地域の焼き菓子工場から出る産業廃棄物となる残渣を従来の餌に加えることで実験、検証しました。

4. 【食農流通コース】 ドローンを活用した

地域農業への貢献

マルチスペクトルカメラを搭載したドローンの利用による農場管理について地域の生産者さんとともに撮影データの解析やその利用、活用方法について考えました。

5. 【地域活性コース】 能勢日帰り旅行

～観光スポットを広めよう～

都会からのアクセスの良い能勢町をE-bikeを利用し、気軽に歴史や自然を満喫してもらえればと、高校生の視線で能勢町の観光を提案しました。

6. 【地域活性コース】 能勢温泉を広め、

能勢町に人を呼び込もう

～温泉を観光資源に～

能勢町の温泉施設をさらに活性化させるには？をテーマに家族をターゲットにサービス改善などを提案しました。

7. 【地域活性コース】 学校の土地を再利用

～きれいな能勢を守るため～

廃校など利用されなくなった建物を解体せず観光資源として活用する方法を提案しました。

8. 【対人支援コース】 そうだ、散歩しよう。

能勢町の施策でもある健康寿命と地域交流促進をめざした百歳体操に「散歩」を加える提案を実際に行い、実施後アンケートやその分析などを行いました。

9. 【対人支援コース】 遊んで覚える福祉知識

～福祉をかるたでマスターしよう～

聴覚障がいの方とのコミュニケーションをテーマに、「指文字」に注目し、それを多くの方に知ってもらうための方法を提案し、実施しました。

発表会当日、淨るりシアター小ホールは課題探究GSにご協力いただいた関係各所の方々、地域の方々や保護者の皆様などでほぼ満席となりました。3年生は、緊張しながらも1年間の成果を堂々と発表しました。発表するスライドのわかりやすさ、見やすさ、地域課題への高校生ならではの視点、課題解決への発想、行動力、また、発表後の質疑応答でも自分たちの言葉で自信をもって答えている姿が印象的でした。

発表会最後に、能勢町長より総評として、9グループそれぞれに、一言ずつコメントをいただきました。また、大阪公立大学教授の伊井先生には、9月の中間発表を含め生徒たちの探究活動を見守っていただき、講評では中間発表からの探究の深まりに驚いておられました。

能勢分校の課題探究GSの取り組みを高く評価し、今後の探究活動にも期待を寄せていただきました。



上森能勢町長

2年生の 新課題探究GS

今年度の2年生から課題探究の授業が1.5倍になりました(従来は1年でしたが今年度からは1.5年)。従来以上に探究学習に比重を高めていく本校のメッセージです。2年生後期より、探究学習の基礎(効果的なデータ活用、問いの立て方、アイデア創出の学習など)、先輩の事例などを学び、より探究活動を深められるよう取り組んでいきます。11月の授業では、能勢町総務課の職員と能勢町地域おこし協力隊4名をお招きし、「能勢町第6次総合計画の概要」と題して能勢町の現状とこれからのまちづくりの考え方の講義後、地域課題についてワークショップを行いました。3年生の最終発表会にも大いに刺激を受け、1月22日(月)にはテーマ発表会を行いました。これからの探究活動にご期待ください。



今年度の2年生から課題探究の授業が1.5倍になりました(従来は1年でしたが今年度からは1.5年)。従来以上に探究学習に比重を高めていく本校のメッセージです。2年生後期より、探究学習の基礎(効果的なデータ活用、問いの立て方、アイデア創出の学習など)、先輩の事例などを学び、より探究活動を深められるよう取り組んでいきます。11月の授業では、能勢町総務課の職員と能勢町地域おこし協力隊4名をお招きし、「能勢町第6次総合計画の概要」と題して能勢町の現状とこれからのまちづくりの考え方の講義後、地域課題についてワークショップを行いました。3年生の最終発表会にも大いに刺激を受け、1月22日(月)にはテーマ発表会を行いました。これからの探究活動にご期待ください。

能勢地域学校連携・一貫教育

SDGsフェスタを開催しました

能勢ささゆり学園と能勢分校が協働し研究を進めている、能勢地域学校連携・一貫教育は「**能勢の宝である子どもたちを学校・家庭・地域・行政が一体となって育てよう**」を理念としています。

11月17日（金）に大阪府教育庁・能勢町教育委員会主催で、「SDGsフェスタ2023～楽しくSDGsを学ぶ日～」を能勢ささゆり学園にて開催しました。ささゆり学園と能勢分校が協働し研究を進めている能勢地域学校連携・一貫教育では、今年子どもたち自身が体験・展示・発表等を通じて、小中高の垣根を越えてSDGsを楽しく学び合うことをねらいとし実施しました。

ささゆり学園5～9年生、能勢分校1～3年生、地域おこし協力隊、能勢・豊能まちづくり、大阪みどりのトラスト協会、大阪経済大学が参加し、それぞれがSDGsにちなんだ、14のブースを作り上げ、来場者との交流を楽しみました。



分校1年生
ごみ分別カードゲーム



分校2年生
分校産ブドウジャム販売



分校3年生
蜜蝋エコラップづくり



ささゆり5年生
車イス・点字・アイマスク体験



ささゆり6年生
能勢の人形浄瑠璃紹介



ささゆり7年生
防災体験(テント・土嚢・防災食)



ささゆり8年生
オリジナル体力テスト



ささゆり9年生
多文化体験



大阪経済大学
パラスポーツ(ボッチャ)に挑戦
クリスマスリース・カード作り

ささゆり学園・東能勢中 8年生が体験授業

12月4日（月）ささゆり学園の8年生、12月15日（金）に東能勢中学校の8年生がそれぞれ能勢分校を訪問し、能勢分校の説明と各コースの授業を体験しました。

中学生にとっては初めての高校での授業体験に少し緊張した面持ちでしたが、中学校での学びとは違った切り口の授業に興味津々でした。



1年生が学習発表会を行いました

2月13日（火）、1年生が学習発表会を行いました。

この一年間『産業社会と人間』で学んだ中から、4テーマ（①留学生との交流 ②体育祭・文化祭 ③ハートプログラム ④再生可能エネルギー）に分かれ発表しました。Canva(キャンバ)という発表ツールを利用し、各グループが約7分の発表を行いました。その後、学習、グループワーク、発表、質疑応答、各グループへのコメント、振り返りを行いました。

本校が大切にしている「挑戦・協働・創造」の礎となる活動です。この学びが2年生からの課題探究GSに繋がっていきます。



農場だより



秋はコメ、クリ、ブドウなどが収穫期を迎え、対外的な活動もこの時期に集中します。冬も野菜の収穫、果樹の剪定、土壌改良など様々な実習があり、農場の学びにオフシーズンはありません！

●『第74回日本学校農業クラブ全国大会（熊本大会）』に参加

令和5年度の全国大会は10月24～26日に熊本で行われ、2年生1名が農業鑑定競技に出場しました。他校の生徒と競い、残念ながら入賞とはなりませんでしたが、過去問題に取り組み、農場で実物を見た教科書を調べた経験は、今後の活動にも生きる経験となりました。

●ロールモデル農業者による講演

12月6日(水)、「ロックファーム京都」の村田翔一さんをお招きしました。「農業の魅力発信コンソーシアム」が、成功している若手農業者の中から、若者にとって憧れや目標の農家となるような人たちを「ロールモデル農業者」として紹介している方の一人です。農業に人が集まることで地域を活性化したいという想いや、価格が高くても価値のわかる人に買ってほしい、と想いを話されました。



村田翔一さん

●ニワトリの解体実習

12月1日(金)、採卵鶏の解体実習に取り組みました。給水・給餌や採卵、敷わらの交換など、普段の衛生管理の他に、産卵のピークを過ぎた個体は解体して更新することは、養鶏の一連のサイクルを学ぶ上で、常に重要な実習です。この実習を通じて、「命の大切さ」をさらに深く実感しました。

●農産物の6次産業化の講義

1月16日(火)、「ベジたぶるぱーく」の植田絵美さんをお招きし、事業概要や商品開発の手法についての講義、ワークショップでは実現性の高いプランを考案されており、とても参考になりました。



植田絵美さん(左端)

●卒業式の飾花の制作

卒業式前日、2年生が3年生の胸元を飾るコサージュを制作しました。また式場内の大花瓶や生花のアレンジメントも行いました。お世話になった3年生への感謝の気持ちを込め、心を込めてひとつひとつついでいに制作しました。

3月30、31日(土・日)に川西阪急百貨店にて加工品の販売実習を行います。ぜひお立ち寄りください。

さようなら、ヤンさん！



昨年8月から、長期留学生として5ヶ月間能勢分校に来ていたスイスの留学生、ヤンさんが2月4日(日)に帰国しました。滞在中は、平通のホストファミリー宅から自転車で通学していました。学校では1年生のクラスに所属し、3学年の様々な授業に入り、一緒に学びました。地域の日本語ボランティアの方の指導で、日本語の読み書きも驚くほど上達しました。他にもバスケットボール部などの活動にも積極的に参加していました。また、12月1日(金)には、ささゆり学園8年生の英語活動に大阪大学の留学生たちと共に参加し、中学生にスイスの紹介やクイズを出し交流を楽しみました。1月20日(土)には、大阪府教育会館で行われた『第29回高校留学生の日本語による体験発表会』で、各国から来ている大阪府下の留学生が、日本語で自分の留学体験についてスピーチをし、ヤンさんは能勢での生活について得意なダジャレを交えながらユーモアあふれるスピーチを披露し、見事優秀賞を受賞しました。



ささゆり8年生と

また日本に来た際には、能勢に遊びに来てくださいね！

From ヤン

アルミ缶の上にあるミカン!! by ヤン

こんにちは！もう2月です。早いですね。初めて学校に来たのが昨日のことみたいです。日本でいろんなところに行きました。

いろんな人に会いました。留学生活が私の大切な時間になりました。こんなすごい5か月間になるとは思いませんでした。みなさんから、たくさん愛をもらいました。私もみなさんに何かをお返ししたいです。本当にありがとうございました！！またねー！

『これから何が起こっても、楽しむことを忘れないでくださいね』



優秀賞！

弓道に挑戦

募集中！

留学生をサポートしてくださる方を募集しています。興味がある方はお気軽にお問い合わせください。国際交流担当：教頭 川嶋 or 田中 TEL 072-737-0666